

免疫細胞活性化エキス

■開発の経緯

霊芝(レイシ)はサルノコシカケ科に属するキノコです。中国の「神農本草経」に記載され、副作用のなく不老長寿に用いる延命の霊薬として最上級薬物として珍重されていました。免疫の働きを活発にする作用あり、医療で使用が期待されています。有効成分はβグルカンや多糖類が想定されているものの、いずれも高分子であり、皮膚や腸管からの利用は制限されていました。そこでオリジナル発酵法により低分子化し、有効成分の働きを高める免疫細胞活性化エキス(レイシ発酵液)をつくりました。



■表示名称

1. INCI

Bacillus/Ganoderma Lucidum/Soybean Extract Ferment Filtrate

2. 化粧品表示名

バチルス／(レイシエキス／ダイズ種子エキス)発酵液

3. 特許 第6751838号

ランゲルハンス細胞活性化作用を呈するノイラミン酸誘導体及びその製造方法

■作用

免疫細胞の活性化
抗炎症作用／抗ウイルス作用及
抗菌作用
皮膚細胞増殖作用

安定性 冷暗所にて2年間

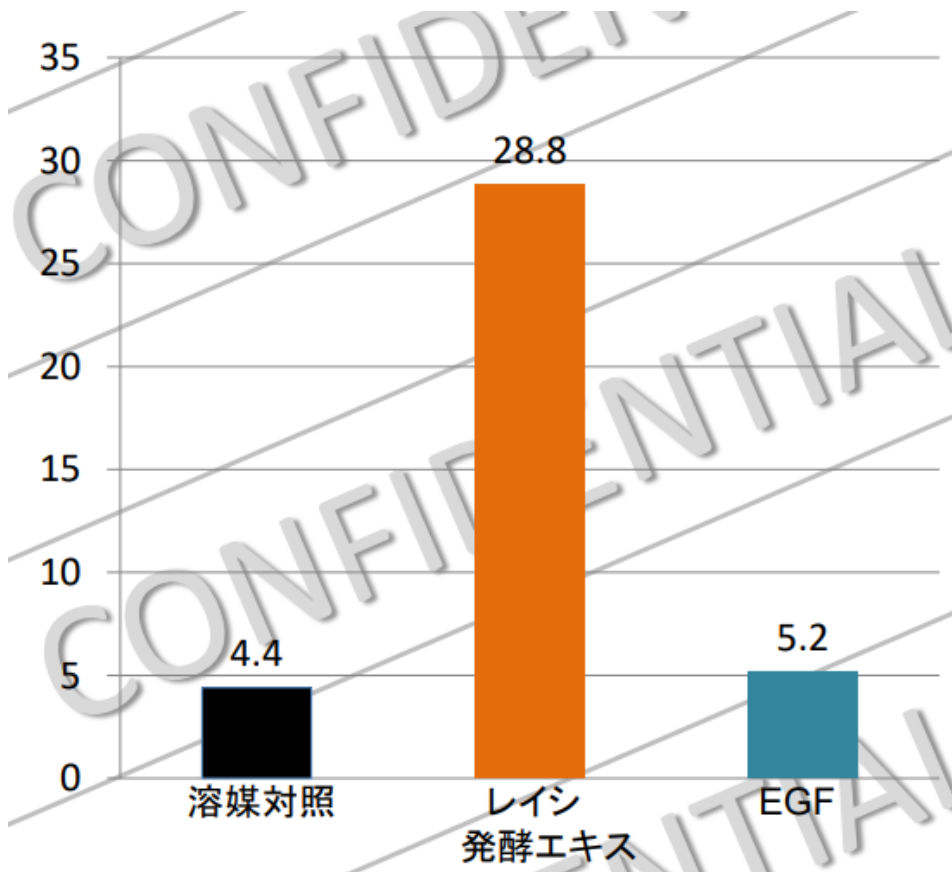
添加物 BGなどの添加物は使用していません

安全性 ヒトによるパッチ試験で安全性を確認

免疫細胞活性化エキス

皮膚免疫機能 増加作用

皮膚免疫機能 (Unit / 1000 cells)

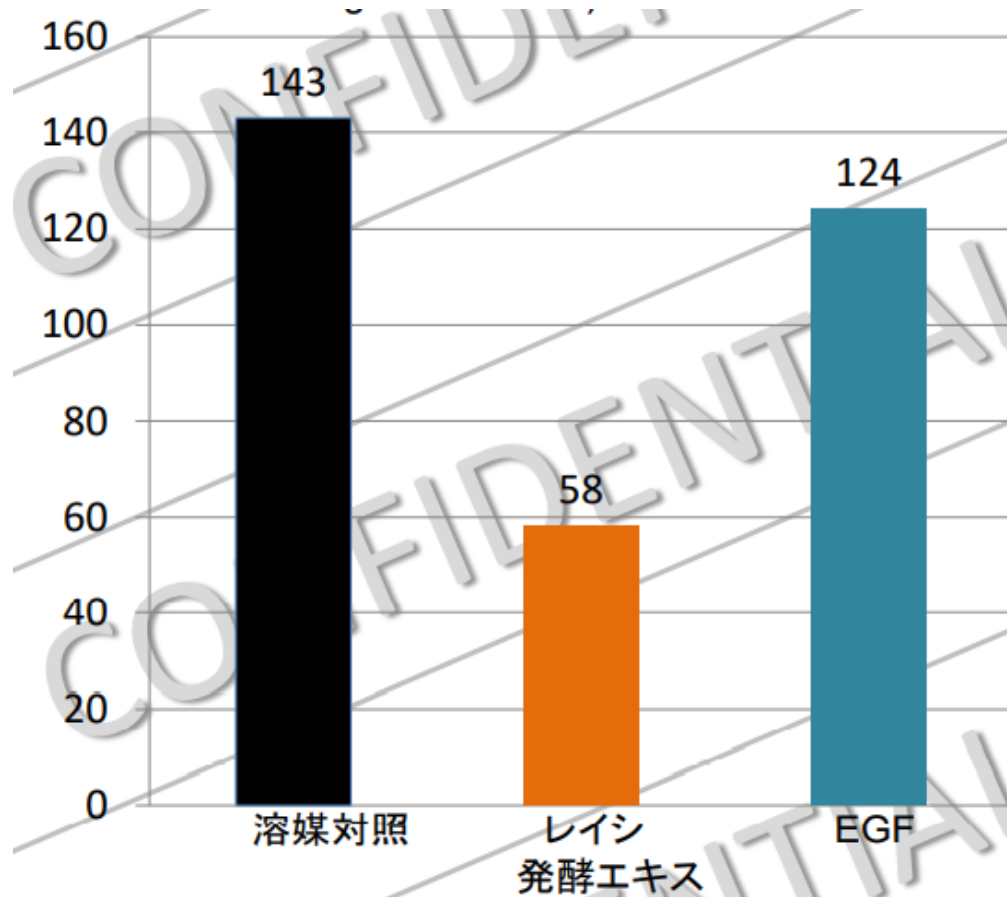


免疫細胞活性化エキス(レイシ発酵エキス)はヒト皮膚の免疫機能(リンパ組織活性)を増加させました。その働きはEGFよりも優れていました。免疫細胞活性化エキスは皮膚の免疫機能を高めると考えられます。

免疫細胞活性化エキス

ヒト皮膚細胞による抗炎症作用

皮膚細胞 炎症性サインカイン (IL-6 ng/1000 cells)



免疫細胞活性化エキス(レイシ発酵エキス)はヒト皮膚細胞の炎症抑制作用を発揮させました。つまり、ニキビやアトピーの時に発生する炎症反応を抑制しました。その働きはEGFよりも優れていました。免疫細胞活性化エキスは皮膚の炎症を抑制すると考えられます。